

## 狂言発表会リハーサル（6年生）を行いました

12月5日（月）に、6年生が、平之荘神社で狂言発表会のリハーサルを行いました。子どもたちは、本番同様の衣装をまとい、リハーサルを行いました。

ふだんは、ズボンやスカートで活動している子どもたちですが、リハーサルでは着物に袴で活動します。歩くのも小走りをするのも、ふだんとは様子が違うようでした。



司会進行を務めます。

みなさん、今日は、リハーサルです。演じている途中はとめません。それぞれの演目を通してやってみて、その時に感じた印象について終わった後で話し合しましょう。

演じ手は、舞台上に立った時に、どういう声の伝わり方をするのか、また、観客は、演技者の声がどう伝わってくるのかを正殿から聞いてあげてください。それでは、本番と同じようにしっかりと声を出しましょう。

私たち6年生は、狂言学習について、はじめは何か楽しそうだなと思っていましたが、舞台上立つにつれて、真剣に稽古を頑張ってきました。そして、少しずつ自分たちの狂言を仕上げました。先輩方から受け継いだ平荘の狂言を精一杯頑張ります。

### 《「附子」のリハーサルより》



子どもたちは、チームで気持ちをつないで演じています。

## 《「柿山伏」のリハーサルより》



子どもたちは、役になりきって演じています。〇〇らしさが、観客に伝わるように考えて演じています。



## 《リハーサルを終えて》



12月7日の本番では、演じているみなさんが楽しんでください。みなさんが楽しんでいると、観客も楽しくなります。

**一番うれしいのは、6年生が楽しんで精一杯演じていることです。**それを、見せてほしいです。今までの苦勞が全部吹っ飛んでしまうぐらいのうれしさです。頑張ってください。

形にとらわれすぎず、もっと楽に演じましょう。もっと元気よく演じましょう。

自分たちが一番楽しむようにしましょう。それが見ている人の一番の楽しみです。

舞台は薄暗いです。その薄暗い中で下を向いて移動すると、(気持ちも)暗いです。絶対にうつむかないようにしましょう。胸をはって演じましょう。

## 本番前日！最後の仕上げを頑張りました

子どもたちは、教室や多目的室、運動場に分かれて、各組で最終の自主稽古をしました。運動場に響き渡る声で稽古をしていました。本番に備えて、子どもたちは準備万端です！今までの過程が大事です。26名の仲間と心を一つに狂言発表会に向けて頑張ってきた6年生です。先輩から受け継いだ平荘小学校の狂言を後輩へと引き継ぐときが刻々と迫ってきています。明日は、きっと最高の狂言発表会になることと楽しみにしています。

山口先生が、「明日は、晴れの舞台です。」とおっしゃいました。「晴れの舞台」にするのは、主役の6年生自身です。失敗を恐れることなく、堂々と演じましょう。平荘っ子や先生方、お家の方々や地域の方々で、6年生を応援します。



【晴れの日】多くの人から祝福され光栄に感じる特別な日。その人の人生において記念すべき日。